2023年（令和5年）夏号　豊村てつや会報　No.24

詳しくはこちら！

# 豊村てつや市議会レポート

## 盛岡市役所新庁舎建設候補地3エリア 内丸・盛岡駅西・盛南

### ～今年11月エリア提案、来年3月正式決定～

新市庁舎建設の候補となっている内丸・盛岡駅西・盛南の3エリアの中で、「最適地はどこか」を検討する場合、盛岡の都市形成にかかる歴史的経緯、防災上の観点などから、「新市庁舎建設のエリア選定」を進めていく必要があります。

盛岡市は、三つの河川「北上川、中津川、雫石川」が流れる川の町で、南部藩の居城「盛岡城」を中心として発展してきた城下町です。

盛岡城は、旧北上川と中津川の合流点に突き出した丘陵に築城されており、その丘陵は主に花崗岩から成る台地で、強固な地盤となっています。

現在の産ビル、教育会館の付近は旧北上川が流れ、当時は船着き場として利用されていました。

■盛岡地区の河道の変遷（国交省一関防災センター）

（国土地理院地図）

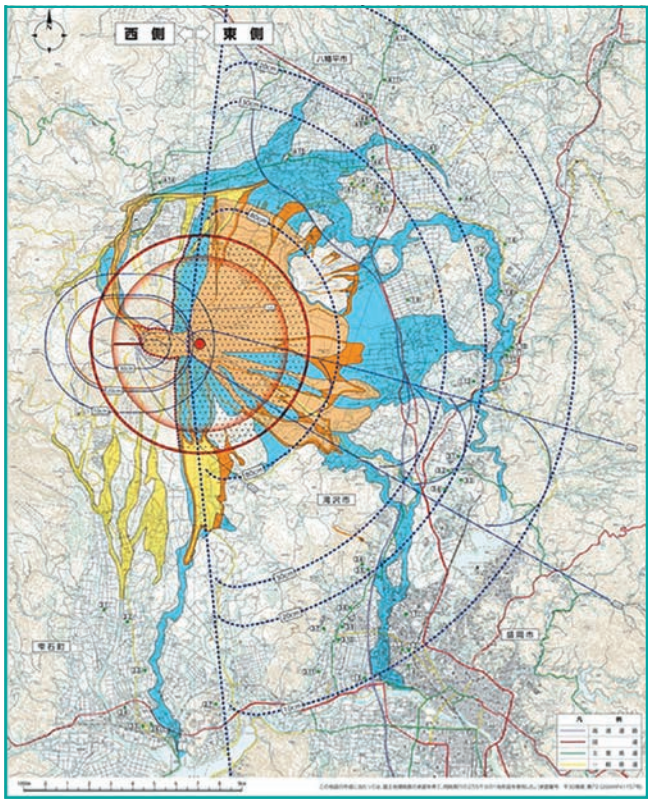
盛岡の土地利用を概括すると、北上川から西側は岩手山の火山灰土が多く畑作地帯で、雫石川流域の南側は主に水田稲作地帯、北上川東側と中津川流域の丘陵地帯は居住区域となっていました。

近年になって、これらの農地は土地区画整理事業（※）などにより商業地や宅地に転用され、人口分布は西高東低、南高北低の傾向にあります。

※主な土地区画整理事業

- 盛南開発（事業規模783.5億円）、盛岡駅西口（310.1億円）、仙北西（307.8億円）、太田（249.4億円）、都南中央第一・第二（210.7億円）、道明（172.9億円）

## ■岩手山火山防災マップ（盛岡市防災マップ）



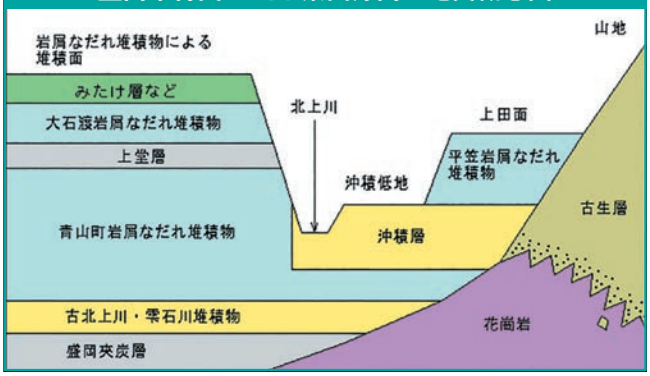

## ■岩手山の有史以降の主な火山活動

（2019.3.20 改訂版）

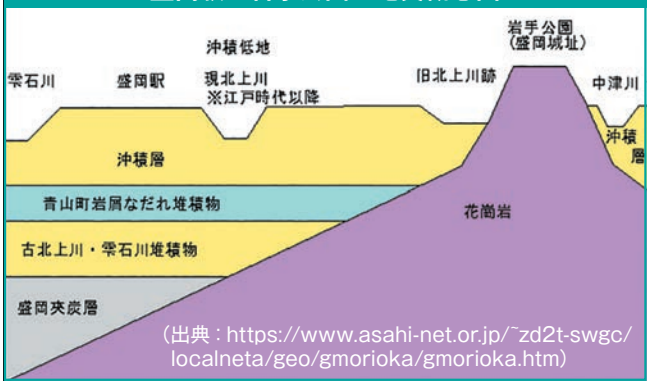
| 活動年 | レベル | 火山活動の状況 |
|---|---|---|
| 1686 | 5（避難） | 東岩手山山頂の噴火 |
| 1732 | 4（避難準備） | 東岩手山山麓の噴火（焼走り溶岩噴出） |
| 1919 | 2（火口周辺規制） | 西岩手山～大地獄谷の水蒸気爆発 |
| 1998 | 2（火口周辺規制） | 3月17日火山性地震が増加し地殻変動開始 |
| 1998 | 3（入山規制） | 4月29日短時間に多数の地震と規模の大きい地震が発生。7月から入山規制 |
| 2004 | 1（平常） | 火山活動の低下に伴い、7月に入山規制解除 |
| 2011～ | ― | 3月11日東日本大震災以降、山頂の西北西約10kmで地震活動が活発化。 |

## ■盛岡市の地層、地盤

盛岡市青山～上田 東西方向の地質概念図



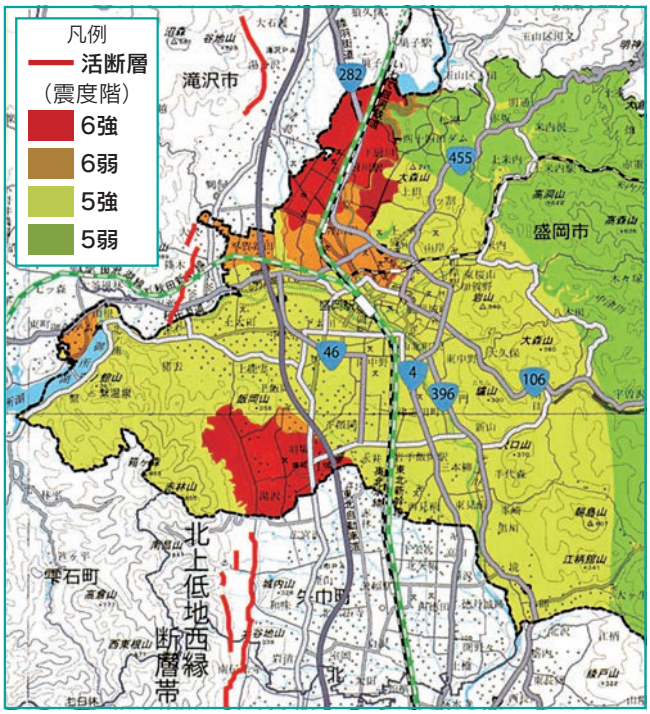

盛岡駅～岩手公園の地質概念図




（出典：https://www.asahi-net.or.jp/~zd2t-swgc/localneta/geo/gmorioka/gmorioka.htm）

## ■活断層と震度分布図

（盛岡市防災マップ　出典：盛岡市防災詳細アセスメント調査報告書）




市に隣接する矢巾町の西側には、北上低地西縁断層帯という活断層があり、この断層により、市では最大震度6強の地震が発生する可能性があります。

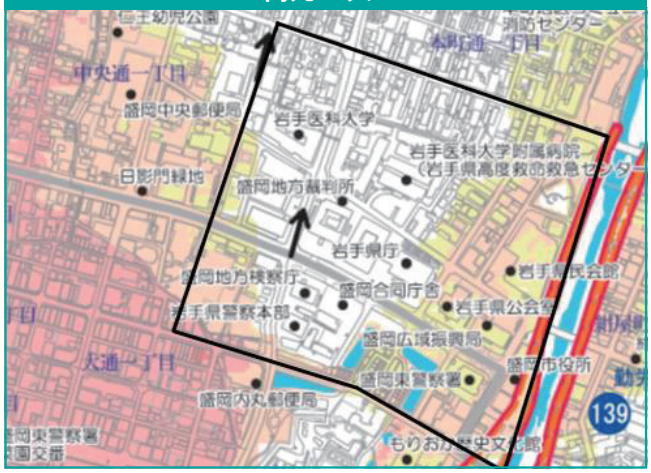
ただし、活断層による地震発生は、岩手山噴火のような百年に一度の頻度ではなく、千年に一度の頻度と分析されています。

むしろ、近未来に想定されるのは、東日本大震災のような海溝型大地震（南海トラフ、日本海溝・千島海溝）の発生で、盛岡市にとって物流が遮断されることによる間接的な被害が生じる可能性があります。

直接・間接的に大規模災害が起きた場合、市役所は防災拠点として、岩手県や警察、消防などとの緊密な連携を果たすことが必要となります。

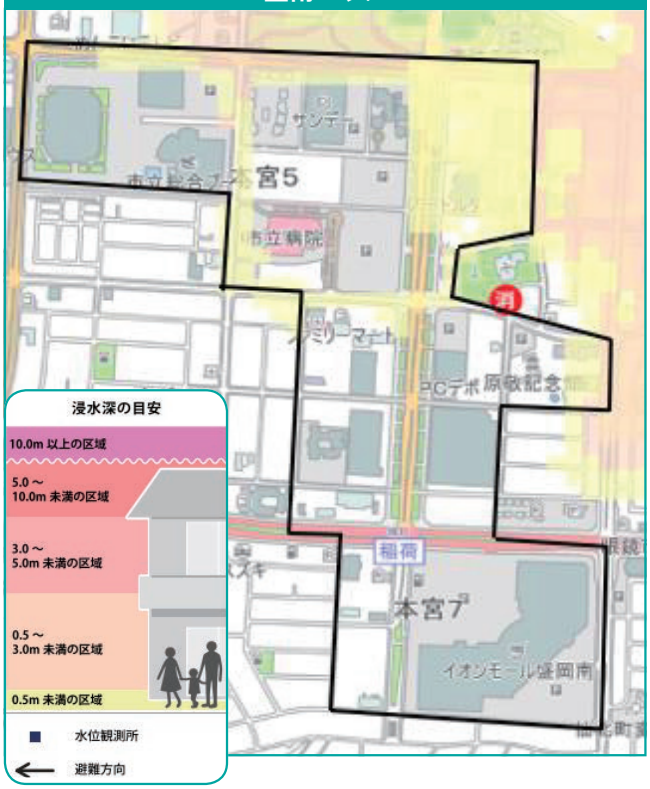
## ■３エリアの洪水浸水想定区域

内丸エリア




盛岡駅西エリア

盛南エリア




なお、盛岡市内水ハザードマップによると、内丸エリアは「内水による浸水のおそれはない」としていますが、盛岡駅西、盛南エリアはともに「一部に内水による浸水が想定」されており、盛南エリアは内水浸水調査が未完了となっています。

## 豊村てつやプロフィール

| | |
|---|---|
| 昭和29年4月25日 | 一関市生まれ |
| 48年3月 | 盛岡一高卒業 |
| 54年3月 | 成蹊大学法学部卒業 |
| 4月 | 岩手県信連入会 |
| 平成15年3月 | 同上退職 |
| 5月 | 盛岡市議会議員 |
| 27年9月～29年9月 | 副議長 |
| 令和元年8月 | 盛岡市議選五選 |

●家　族：妻、長男夫妻、オカメインコ
●血液型：O型
●趣　味：オカリナ・ケーナの演奏、音楽鑑賞、テニス

## 令和５年７月現在の主な役職と連絡先

| | | |
|---|---|---|
| ●山岸三丁目町内会会長 | [副会長　深倉尚充 | 662-2690] |
| ●山岸地区町内会連合会会長 | [事務局長　松田善春 | 663-2766] |
| ●山岸地区福祉推進会会長 | [山岸児童･老人福祉センター | 625-3601] |
| | [山岸地区活動センター | 663-2505] |
| | [山岸老人憩いの家 | 663-6221] |
| | [愛宕山老人福祉センター | 624-2208] |
| ●加賀野交番管内連絡協議会理事 | [加賀野交番 | 624-5396] |
| ●盛岡市消防団第6分団後援会副会長 | [第6分団屯所 | 622-3406] |
| ●岩谷稲荷神社責任役員 | [社務所管理人 小玉秀男 | 625-3451] |
| ●(社福)東部偕興会理事 | [山岸保育園 | 623-6976] |
| ●(社福)小原慶福会理事 | [養護老人ホーム清和荘 | 624-0533] |
| ●(社福)岩手県同胞援護会理事 | [くろいしの保育園 | 662-9123] |
| ●(NPO)WaiWai-ぐるんぱ理事 | [地域活動支援センター | 661-7018] |
| ●JR山田線ファンクラブ会長 | [ふくろう亭 | 662-3249] |
| ●岩手県競馬組合議会議員 | [オーロパーク | 651-2999] |
| ●盛岡広域環境組合議会議員 | [同組合総務課 | 613-7653] |

今年に入ってすぐにアメリカの有力紙ニューヨーク・タイムズ電子版は、「2023年に行くべき52カ所」を旅行欄で特集し、ロンドンに次ぎ2番目に盛岡市を選出しました。

**■〈ニューヨークタイムズ　今年行くべき　52カ所〉特集記事における日本の掲載状況**（2010年以降）

| 年 | 順番（順位） | 選出場所 |
|---|---|---|
| 2010 | （なし） | |
| 2011 | 12 | ニセコ |
| | 39 | 沖縄 |
| 2012 | （なし） | |
| 2013 | （なし） | |
| 2014 | 18 | 石垣島 |
| | 41 | 野沢温泉 |
| 2015 | 35 | 四国 |
| 2016 | 38 | 関西 |
| 2017 | 15 | 大阪 |
| | 52 | 琉球諸島 |
| 2018 | 27 | 本州の西海岸 |
| 2019 | 7 | 瀬戸内エリア（瀬戸内の島々） |
| 2020 | 9 | 東京：注1 |
| 2021 | 39 | 北海道 |
| 2022 | 19 | 京都 |
| 2023 | （1） | （ロンドン：注2） |
| | 2 | 盛岡 |
| | 19 | 福岡 |

（注1）2020東京オリンピック
（注2）チャールズ国王の戴冠式

同紙に紹介記事を書いたクレイグ・モドさんが例示的に挙げた場所・店は、開運橋のジョニー、盛岡城跡公園、理容ヒラサワ（神明町）、ティーハウスリーベ（内丸）、クラムボン（紺屋町）、東家（中ノ橋通）、BOOKNERD（紺屋町）、NAGASAWA COFFEE（上田）などで、いずれも内丸地区とその周辺です。

モドさんは、また、次のようにも述べています。

「山々に囲まれた盛岡市の市街地は街歩きにとても適している。大正時代に建てられた西洋と東洋の建築美が融合した建造物、近代的なホテル、歴史を感じさせる旅館（伝統的な宿泊施設）、蛇行して流れる川などの素材にあふれる。城跡が公園となっているのも魅力のひとつだ。」

「盛岡の規模の街では、リスクを取ったり、自分で店を始めたりしやすく、街のコミュニティーや文化の中心の一員になる余裕ができる。」（県HPより抜粋）

盛岡の都市形成にかかる歴史的経緯、防災上の観点などからも、新市庁舎は内丸エリアとすべきです。**盛岡が盛岡であるためには**、城下町盛岡は城跡のそばに市役所や県庁、警察、裁判所などの行政機関が立地していなければならないと確信します。

## インターネットによる情報の入手

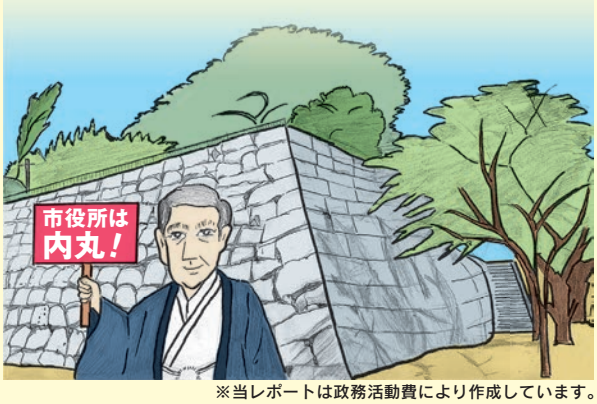
**■うぇぶ山岸**
★山岸地区町内会連合会
▶ 各年度の市政要望事項と回答を掲載

★盛岡市議会議員 豊村てつや
▶ 市議会レポート等

**■盛岡市議会**
（トップページから次のメニューに入れます）
★インターネット中継 ▶ 登壇の際、実況中継されます。
・中継録画は平成31年3月議会からご覧になれます。
★議会活動 ▶ 盛岡市議会情報データベース
・県内、全国主要都市の決算状況、行政水準を比較できます。
★請願、陳情 ▶ 議会を通じて市民が直接市政に要望できます。
・紹介議員実績／提出本数：R3＝4/11、R4＝13/19、R5＝5/5

## 豊村てつやの連絡先

〒020-0004　盛岡市山岸3丁目23-10
TEL・FAX　019-661-4124
携　　帯　090-5185-0308
E-mail：t-toyomura@ict-net.net
G-mail：tetsuyatoyomura@gmail.com
https：//www.livable-yamagishi.jp（うぇぶ山岸）




※当レポートは政務活動費により作成しています。